



しんとつかわ 議会だより

2011. 6 No. 46

CONTENTS

- ◇第2回臨時会…………… 2
- ◇第3回臨時会・就任あいさつ…………… 3
- ◇議員活動4年間の抱負…………… 4
- ◇勇退議員からのごあいさつ…………… 6

健やかに育て！新1年生



『議会構成決まる！』

新議長 長谷川 秀 樹氏
新副議長 西 永 勝 治氏

第2回臨時会

統一地方選が終わり、戦後初の無投票で11人の議会議員が誕生した。

初議会となる第2回臨時会が5月6日に開催され、議長や常任委員会委員さらに一部事務組合議会議員等を選任した。

○議長選挙

今回の議長選挙は、議長を志す2人の議員が全議員の前で所信を発表、その内容を聞きそれぞれの判断で投票することとした。

長谷川氏の主張

まちづくり基本条例の考えを尊重し、町民のための議会改革を進める。

長名氏の主張

町長や道議会議員との太いパイプを生かし町政発展に貢献する。

議長選挙の結果は、長谷川秀樹7票、長名 實4票となり、長谷川氏が議長となった。

○副議長選挙

立候補者は1人であったが議長選挙と同様に進めた。西永勝治11票

【人事案件】

議長 長谷川秀樹

副議長 西永 勝治

▼総務民生常任委員会

委員長 笹木 正文
副委員長 西内 陽美
委員 平澤 豊勝
西永 勝治
青田 良一

▼経済文教常任委員会

委員長 山田 秀明
副委員長 安中 経人
委員 樋坂 里子
後木 幸里
長名 實

▼議会運営委員会

委員長 青田 良一
副委員長 樋坂 里子
委員 笹木 正文
山田 秀明

▼議会広報特別委員会

委員長 青田 良一
副委員長 山田 秀明
委員 笹木 正文
西内 陽美
安中 経人

▼新十津川町農業委員会委員

山田 秀明

▼新十津川町監査委員の選任

平澤 豊勝氏
昭和19年9月21日生
新十津川町字大和2番地4

▼新十津川町副町長の選任

佐川 純氏
昭和24年1月2日生
新十津川町字中央524番地10

一部事務組合関係

▼西空知広域水道企業団議会議員
青田 良一
山田 秀明

▼中空知広域市町村圏組合議会議員
長谷川秀樹
西永 勝治

▼滝川地区広域消防事務組合議会議員
長名 實
青田 良一
安中 経人

▼石狩川流域下水道組合議会議員
長谷川秀樹

▼中空知衛生施設組合議会議員
笹木 正文
後木 幸里

▼空知教育センター組合議会議員
西内 陽美

広域連合関係

▼空知中部広域連合議会議員
長谷川秀樹
樋坂 里子

▼中・北空知廃棄物処理広域連合議会議員
長谷川秀樹

第3回臨時会

平成23年第3回臨時会が5月19日に開かれ、次の案件を審議しました。

【開拓物故功労者の合祀】

新十津川町名誉町民 故 渋川勝石氏を開拓物故功労者として、菊水公園にある忠魂碑に合祀する旨同意した。

【工事請負契約】

- ▼青葉団地公営住宅建設主体工事（第4期）
- ・契約の方法 指名競争入札
- ・施業者 久保田・角谷特定建設工事共同企業体
- ・契約金額 1億812万9千円
- ・履行期限 平成23年11月30日

就任あいさつ



町議会議長

長谷川 秀樹

日に日に緑が増し、本町もさわやかな季節となりました。皆さまにはご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて私儀、この度平成23年第2回新十津川町臨時会におきまして、議会議長に就任させていただきます。

もとより微力な私ではあります。議長職という重責を担うことになるに、身に余る光栄に存じております。今後、より一層新十津川町発展のため最善の努力をいたす所存でございます。

ご承知のように今回の新十津川町議選においては戦後初となる無投票による当選という結果となりました。とかく

議会離れが全国的に深刻化する中、本町においても例外ではなく、町民の皆さまの議会に対する厳しい判断と重く受け止めているところでございます。町民が議会に対して何を望んでいるのかを原点に立ち、考え直す時期に来ているといえます。

今私たちは、地方分権、地域主権という流れの中で、新たな時代の転換期にさしかかっています。本町においても、本年1月に施行したまちづくり基本条例の条文の「議会・議員の責務」に則して議員自ら研鑽を深め、町民の皆さまとともに情報を共有し、開かれた議会、町民の皆さまの視線が議会に向けられるような議会運営を目指し、その使命達成に努めてまいります。

今後、町議会に對しまして、町民の皆さまの格段のご理解とご協力、ご意見を賜りますよう心からお願い申し上げます。長就任のご挨拶とさせていただきます。



町議会副議長

西 永 勝 治

町民の皆様には、日頃より町議会に對しましてご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。

去る5月6日、第2回臨時会におきまして議員各位のご推挙により、副議長に就任致しました。誠に身に余る光栄に存じております。より開かれた円滑な議会運営に努め、その使命達成のため邁進して参ります。昨年は、開町120周年の記念すべき節目の年となりました。今年は未来に向けた新しい一歩を踏み出す「歴史的な年」と考えております。

1月1日より施行されました、まちづくり基本条例は、町民の皆様が議論に議論を重ね我が町の最高規範として策定されました。私は、この条例の目指すところは、町民が主役のまちづくりであると考

えており、とかく議会と町民の皆様と乖離があるとのご意見も頂いて参りましたが、町民の皆様と議会は表裏一体の信頼関係でなければならぬものと考えております。議長は補佐役として、また、各議員のご協力を頂きながら、町民の皆様と接する機会を多くつくりご意見を拝聴し、未来に向けた議会運営に努めて参りますので、町民の皆様のご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。



議員活動4年間の抱負



議会運営委員長

青田 良一

拙宅の前に公園があります。初夏の訪れとともに子ども達の元気な声が聞こえるようになりました。自転車補助輪から卒業した子、ブランコ、滑り台など数少ない遊具に群れる子、あるいはサッカーボールを夢中で奪い合っている子ども達の様子をぼんやりと眺めている時間が好きです。行政区の合併あるいは公営住宅の建設によって子ども達が公園に帰ってきたのです。この公園は地元の高齢者の方々が花を植たり、子ども達が持ち込む様々な遊び道具（大人が見ればゴミ）を定期的に片付けて（清掃）くれます。子ども達の声は大人の心を和

ませてくれます。大人は子ども達の健やかな成長を願いつつ、自らできる範囲で環境整備や安全な遊び場の確保に尽力する、こんな構図が町中で日常的に展開されることが「まちづくり」であると思っています。

これからも多くの町民の声に耳を傾け、町政発展に貢献できるような努力しますので引き続きご支援ご指導をお願いいたします。



総務民生常任委員長

笹木 正文

未曾有の震災被害の概要が未だつかめぬ4月に町議会議員の選挙が行われ、無投票と

いう戦後例のない形で当選をさせていただきました。私にとっては、前回の初当選以来2期目の議員活動に入る事になります。平成21年の政権交代により与野党が逆転し、民主党政権が誕生した。国民の期待は大きかったが、以前から続く国の財政悪化が更に進み、交付税頼みの地方財政がより厳しくなつた事。加えて、先に述べた東日本大震災の影響でリーマンショック以降低迷していた景気がより悪化し、経済全体がかつて無いほど疲弊してしまつた事である。

このような景気の中、今回の改選で町の商工業関係議員は残念なことに私一人になつてしまいました。

我が町の基幹産業は水稲を中心とした農業であります。商工業を置き去りに活気あるまちづくりは成り立ちません。今後は、農業・商工業が共に支えあうことが必要であり、特に農商工連携が叫ばれる現在、商工業の視点から全産業を視野に町の産業発展に寄与できるような議員活動を行いたいと思っています。

無投票当選で少々気の引

る感も否めない選挙結果ですが、こんな混沌とした社会情勢の中で新十津川町が今後直面する様々な問題を、常に町民の代表という意識を持って、是々非々の立場で議論したいと考えています。

町民の皆様には、議会に対する深い御理解と共に、厳しい目で見守って戴くようお願いいたします。



経済文教常任委員長

山田 秀明

今回の選挙は無投票となりましたが、多くの皆様にご支援を頂いております事に心より感謝申し上げます。また、今回の大震災で被害にあわれた皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

さて、当選させていただいたからには今まで以上に皆様

の代弁者として多様な意見を行政に伝え、地域、そしてわが町が少しでも住みやすくなるように頑張ります。今問われている議員自体の資質向上や、議会改革にも積極的に取り組み、開かれた議会をめざし精一杯努力してまいりますので、皆様の熱いご意見の程よろしくお願いいたします。



新十津川町監査委員

平澤 豊勝

○活力ある農業農村の発展、商工業の共生
 (1) (仮称) 農業振興公社を早急に立ち上げ、喫緊の課題に対処すべきと考えている。
 (2) 農業農村整備事業については、地元の期成会の代表でもあることから早期の完成に向け予算の増額に努める。

○時代に対応した青少年の教育、暮らして良かったと実感できるまちづくり

(1)小・中学生の孫を持つ者として、学校生活を見聞きしながらより良い教育環境づくりを努める。

(2)犯罪などのない安全安心な町、まちづくり基本条例に基づき、地域に合った地域づくりを行政区長と連携を取りながら執り進める。

○高齢者が楽しく暮らせる福祉行政、生活環境

老人クラブの会合を通じ実際の日常の不安や不便などを聞きながら高齢者の声を福祉行政に反映させる。



樋坂 里子 議員

私は、今回の選挙にあたり24年間取り組んできた「町民

こそ主人公」をつらぬいて次のことを中心に取り組みたいと思います。

買い物・交通難民への対策の方法。消費税増税反対。介護保険制度の充実。後期高齢者医療制度の廃止。T P P参加に反対。住宅リフォーム制度の導入。地産地消。公共事業は地元業者優先に。憲法改正に反対し9条を守る。

議員は町政の執行者ではないので、軽々に「これをやります。」とは言えませんが、一般質問や委員会活動を通じ、町民目線での提言を続けていきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



後木 幸里 議員

本年4月の統一地方選挙において、我々町議員11人は無投

票で当選させていただきました。私は非常に重く受け留めさせていただいている一人であり、今後は有権者町民の皆様のご指導をいただきながら4年間務めてまいります。

ここで少しだけ私の想いの一端を述べさせていただきます。

去る3月11日に起こった東北の大震災は、今後かなり長い期間日本の政治や経済に計り知れない影響を及ぼすことは必至と思えます。このような時代町議会議員の一員としての想いは、まず、一人ひとりが自己を確立すること。そして町民生活の安定を町政執行者、議員、職員、そして町民のみならず共々協力していくことが一番大事なことと思えます。

不透明な時代が迫りつつあるように思います。不動心を培いたいと思えます。



長名 實議員

統一地方選挙が終って1カ月が経ちました。今回投票が行われたのは知事選挙のみで、道議、町長、町議においては無投票となり寂しい結果となっております。

私自身この結果を受け、積極的に町政参加を志す町民が数少なくなることに疑問を感じています。議員も議会も本町の将来を考える時、町民も交えての真摯な検証、議論が必要と思えます。その上で議員定数は、人口の少ない地域の人たちのためにも、より多くの声が町政に届くことが大切で、多くの町民が町政へ参加してくれることを望みます。

さて、私は初議会において滝川地区広域消防事務組合議員に選任されました。先の東日本大震災を想定外の出来事として片付けてよいのでし

ようか。本町も未曾有の災害を契機に誕生した町でもあることから災害に備えるインフラ整備に努力してきました。町民の安全安心を守るための防災対策をより一層配意していく所存でありますので町民各位のご指導ご支援をお願いいたします。



西内 陽美 議員

豊かな自然に恵まれた新十津川町のさらなる未来に、大きな責任を負ったと重く受けとめております。町民の皆さまのお役に立てるよう日々研鑽を積み精進してまいりますので、ご指導を宜しくお願ひ申し上げます。

さて、わが町にも様々な課題が山積しております。喫緊に取り組むべきものには、交通手段の確保・福祉施設の充実を含め、ご高齢の方が健康

で快適に過ごせる為の方策や支援のあり方。安心して子育てができる環境整備・支援の拡大。町内定住を推し進める為の住宅確保や雇用対策等が挙げられると考えます。社会全体で支えていく仕組みづくりに、皆さまの声を広く頂戴し、町政に反映できるように一生懸命努めさせていただく所存です。



安中 経人 議員

町民の皆さん、この度、多くの支援者の支えにより、議会の仕事に就くこととなりましたので、よろしくお願います。

今は大きな職責の重圧に押しつぶされそうな気持でありますが期待にこたえられるよう努めてまいります。そこで私は議員活動にあたり

り次のような指標を立てて自己評価をしてまいりたいと考えております、町を持続させるためには産業の安定継続が必要であり農業、商工業を支えていくこと。町づくりの功労者である高齢者の生きがいと活用を図ること。未来を担う人的財産である子供たちの成長を支援すること。最後に長くかかわってきた環境の仕事の中から自然エネルギーの活用、特に受動再生エネルギーである太陽光発電は重要でありエンジニアリングを勉強したいと考えております。

以上のことを中心に4年間一所懸命努めますので、皆さまのご指導ご鞭撻をよろしくお願いたします。

勇退議員からのごあいさつ



続木 俊一

この度、町議会議員を引退するにあたり、ご支援を賜りました多くの町民の皆様に御礼の言葉を申し上げます。

平成3年に初当選させていただいて以来、5期20年間に渡り大過なく議員生活を過ごすことができました。秀峰ピンネシリの麓に広がるこの沃野に、この町の礎である農業を中心に理想郷を築くべく微力を捧げてまいりました。農業のグローバル化に対応すべく、水田1枚1ha以上のほ場整備を実施し、近代的な農業を目指したいと当時の安藤町長に一般質問したことなど、皆様のご意見を頂戴しながら充実した期間を過ごさせていただいたことに厚く御礼申し上げます。

今後、ますますわが町の発展をご祈念申し上げます。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございました。



乗松 政勝

この度、4月30日をもって任期満了につき町議会議員を退任いたしました。

平成11年の初当選以来3期12年間、皆さまにご支援を賜り議会活動をさせていただきました。この間、皆さまからのご厚情、ご指導を賜りましたことに深く感謝と御礼を申し上げます。

終わりに、新十津川町、町議会の発展と皆様方のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。



岩木 雅徳

退任に際し、皆様にお礼を申し上げます。平成19年4月の町議選に多数の支援を賜り、町議会に送り出していただき、議員として町政に携わる機会を得ました。住民の皆様から多方面のご意見を頂き、解決策や将来に向けた展望など貴重な提言をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。議場や委員会、そして日々の議員活動の中で十分に自分の考えや皆様の想いを代弁できたかという点、疑問符が付きま

す。皆様の期待に添えなかつた事が多々あり残念であります。が、全て私の未熟さと能力不足に尽きます。

4年間支援していただいた感謝の気持ちを、この紙面をお借りして申し上げます。ありがとうございます。